

令和 8 年 3 月 19 日

「産業団地 GX 推進ガイド」
～地域課題解決の次の一手！産業団地 GX の挑戦～
を全国に先駆けて公開！

近畿経済産業局は、産業団地の GX を進める実装手順と先行事例を、既存・新規団地の両視点でまとめた「産業団地 GX 推進ガイド」を全国に先駆けて公開しました。国の GX 産業立地政策の動向を踏まえ、本ガイドに基づく勉強会や相談支援等を通じて、管内自治体等の理解促進と機運醸成、実装を後押しします。

1. 具体的な取組

- ・ 近畿経済産業局は、令和 7 年 2 月閣議決定の「GX2040 ビジョン」が示す「GX 産業立地」を近畿地域で推進するため、令和 7 年度に全国の産業団地（工業団地・産業用地）における GX の取組実態を調査しました。
- ・ 調査にあたっては、近畿経済産業局が中心となり、全国の各経済産業局と連携して各地域の事例を取材。GX の推進段階ごとの課題と打開策、関係者の役割や関係性を体系的に整理し、その知見を全国に先駆けて「産業団地 GX 推進ガイド」として取りまとめました。
- ・ これらの取組を通じ、近畿管内における産業団地 GX の実装加速、モデル創出と横展開を進め、レジリエンス強化と脱炭素の両立を目指します。

（産業団地 GX 推進の主なポイントとガイド掲載の主な取組事例）

- ✓ 関係者間で共通理念を持つ。自治体から地域課題を伝えることも有効な手段。
- ✓ 関係者同士の潤滑剤として機能するコーディネーターを体制に組み入れる。
- ✓ 最初から全員参加で実施しようとせず、段階的に参加できる環境をつくる。

取組事例	産業団地 GX のポイント
豊岡中核工業団地におけるマイクログリッド事業 （兵庫県豊岡市）	マイクログリッドで非常時電力を確保し、売電で経済性も担保
清原工業団地スマエネ事業 （栃木県宇都宮市）	電力安定供給を徹底し、団地全体で省エネ
F-グリッド構想に基づくスマートコミュニティ事業 （宮城県大衡村）	地域と工業団地が一体となった安全・安心のまちづくり
瑞穂町地域におけるスマートエネルギー事業 （東京都瑞穂町）	大規模コジェネの共同活用で、省エネ・CO2 削減・BCP に貢献

2. 今後の展開

- ・ 近畿経済産業局は、本ガイドを活用し、近畿管内の自治体、産業団地関係者、エネルギー事業者等に向けた周知を強化します。
- ・ あわせて、先行事例の紹介や具体的な GX 推進手法・エネルギーソリューションを学ぶ勉強会、個別相談などを継続的に実施し、産業団地 GX の機運醸成と実装を着実に後押しします。

3. 背景と課題

- ・ 産業団地は地域の雇用と付加価値を支える製造拠点ですが、産業団地 GX の先行事例は全国的にまだ少なく、地域ごとに再エネ資源が異なるため、自治体等が参照できる知見・ノウハウが限られていました。
- ・ 加えて、用地開発からインフラ整備、企業誘致、エネルギー導入に至るまで、自治体、不動産開発事業者、エネルギー事業者、入居企業など多様な関係者の長期的な合意形成が求められます。
- ・ こうした背景を踏まえ、全国 20 地域の産業団地取材し、自治体等が次の一步を踏み出せる実践知として本ガイドを作成しました。

(資料等掲載 URL)

https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/cn_kougyou/r7guide.html



本レポートの構成

目次	概要
1 産業団地GXとは 産業団地GXの推進 産業団地GXの意義	高度成長期以降の産業団地は、従来のGX-1のGXを踏まえて、産業団地GXで大きく、新しい産業団地を実現することが必要です。
2 先行産業団地における 国のGXのPPT	国産GX推進 GX推進チーム GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻 GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻 GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻
3 先進産業団地における 国のGXのPPT	先進産業団地 GX推進チーム GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻 GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻
4 産業団地GXに参画する 人財・ノウハウの 育成と活用	人財・ノウハウ 産業団地GXに参画する 人財・ノウハウの 育成と活用
5 GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻	GX推進 上巻 GX推進 中巻 GX推進 下巻
6 産業団地GX事例紹介	産業団地GX事例紹介 産業団地GX事例紹介

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 カーボンニュートラル推進室長 織田
 担当者: 吉田、米田、八木
 電話: 06-6966-6055

(参考)

■ GX(グリーントランスフォーメーション)

- ・ 我が国は、産業革命以来続いてきた化石燃料中心の経済・社会、産業構造を、クリーンエネルギー中心へと移行させ、エネルギーの安定供給と経済成長、排出削減の同時実現と、経済社会システム全体の変革を目指す「GX(グリーントランスフォーメーション)」を推進しています。

■ GX 産業立地

- ・ 令和 7 年 2 月に閣議決定された「GX2040 ビジョン」では、脱炭素エネルギーの供給拠点が地域ごとに偏在している現状を踏まえ、エネルギー供給に合わせて需要を集積するという新たな発想に基づく「GX 産業立地」政策の推進を掲げています。
- ・ 具体的には、スピード感を持って、「新たな産業用地の整備」と「脱炭素電源の導入」を進め、地域経済の活性化と経済成長の両立を図ります。

■ 近畿経済産業局が産業団地 GX 推進に取り組む背景

- ・ 近畿経済産業局は、GX2040 ビジョンに位置づけられた中堅・中小企業の GX を支援するため、自治体や支援機関等と連携し、「中堅・中小企業の面的 GX 支援プロジェクト」を実施しています。
- ・ 面的な GX 支援を行う対象は複数ありますが、その一つとして、多くの企業が集積し、地域の雇用を支え付加価値を生み出す製造拠点である「産業団地」に着目しました。
- ・ 入居企業からは、「自社単独での省エネには限界があり、産業団地内の複数企業連携による省エネや再エネ導入などに取り組みたい」とのニーズが寄せられていることから、令和 5 年度より、自治体や産業団地関係者、エネルギー事業者等と連携して、産業団地における GX の推進に取り組んでいます。